

TOEIC リーディング得点を説明する要因の究明

望月正道、磯達夫、高本香織、佐藤繭香

1. 研究の背景

大学生の英語力の指標としてTOEIC が用いられることが多くなってきている。これは企業が就職や昇進の条件に TOEIC 得点を求めることと無関係でない。学生の TOEIC 得点を向上させて就職率を上昇させる目的で、TOEIC 対策の授業や講座を設けている大学も少なくない。そのような授業では、TOEIC に頻出の単語を増強する、TOEIC で問われる文法問題に精通させる、TOEIC の読解問題に対応できる読解力を養成することを目指すなどのような指導がなされている。しかしながら、大学生が英語力、とくに読解力を短期間に向上させることは難しい。第二言語読解力は、語彙知識、文法知識、第一言語の読解力、テキスト内容に関する背景知識を構成概念の主たる要素とし、それらに影響を受ける。TOEIC の読解問題は、英語語彙力、英語文法力、日本語の読解力、テキスト内容の背景知識として TOEIC の読解問題形式への精通度が構成概念の要因と考えられる。この4つの構成概念が TOEIC 読解をそれぞれどの程度説明できるのであろうか。日本人英語学習者が TOEIC 読解得点を向上させるためには、どの構成要素が一番重要なのであろうか。本研究は、英語語彙力、文法力、日本語の読解力、TOEIC の読解問題形式への精通度のいずれが、TOEIC の読解をよりよく説明する要因であることを究明することを目的とする。

2. 先行研究

読解は、多面的で複雑な言語技能である。さまざまな読解下位技能やミク

ロ技能が読解の構成をなしており、テキストと読者に関連した変数が直接間接に読解プロセスや理解にかかわっている。

Alderson (2000) は、読解に影響する変数として、読み手に関連する変数とテキストに関連する変数とを挙げている。読み手に関連する変数は、背景知識、形式スキーマ、内容スキーマ、メタ言語知識、メタ認知方略、読解技能、読解能力、動機づけである。テキストに関連する変数は、テキストのトピック・内容、テキストの構成、統語的複雑さや語彙などの言語的特徴、読みやすさ(readability)、印刷上の特徴、非言語情報、テキスト提示の方法である。

TOEIC の読解問題を考える場合は、今回の実験では1種類のTOEIC読解問題を扱うので、テキストに関する変数は制御されていると考えて、読み手に関連する変数の構成要素のみを考察する。

Grabe and Stoller (2002) は、読解で活性化されるプロセスを下位レベルプロセスと上位レベルプロセスの2つに分け、それぞれ4つの要素を挙げている。下位レベルプロセスは、語彙アクセス、統語解析、意味命題形成、この3つを作動記憶で統合する作動記憶の活性化という4つの要素を持つ。下位レベルのプロセスは、ボトムアップ処理による読解プロセスと言える。上位レベルプロセスも4つの要素を持つ。第1は、テキスト理解のモデルで、節レベルの情報がそれまでのテキスト情報と統合される過程である。第2は、読み手の解釈に基づく状況モデルである。これは、読み手の背景知識、推論、読む目的、動機づけ、タスクやテキストの難易度によって読解の解釈が変わっていく。第3は、背景知識の使用と推論である。第4は、中央執行制御プロセスである。これは、理解をモニターし、必要があればストラテジーを使用し、読みの目標を評価・再設定し、理解の問題点を解決するものである。上位レベルプロセスは、トップダウン処理による読解プロセスと言える。

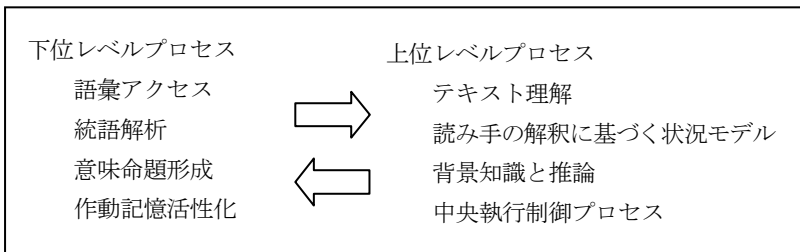


図1 読解プロセス：Grabe & Stoller (2002) を元に作図

表1 言語閾値仮説を支持する研究のまとめ(Grabe, 2009)

研究	被験者	結果
Perkins, Brutten, & Pohlman (1989)	日本語 L1 英語 L2 学習者 174 名	L2 習熟度と L2 読解には強い相関 L1 読解と L2 読解には弱い相関 L2 習熟度が高いグループでは, L1 読解と L2 読解の読解との相関は強い
Carrell (1991)	英語 L1 スペイン語 L2 学習者 スペイン語 L1 英語 L2 学習者	母語読解技能と L2 習熟度のどちらも L2 読解の重要な予測指標 L2 読解が低い学習者には L2 習熟度がより重要
Bossers (1991, 1992)	トルコ語 L1 オランダ語 L2 学習者 50 名	L2 習熟度は L1 読解よりも重要 L2 読解が低い学習者では, L2 習熟度のみが L2 読解を説明 L2 読解が高い学習者では, L1 読解技能が重要
Bernhardt & Mamil (1995)	英語 L1 スペイン語 L2 学習者	L2 習熟度が L1 読解技能よりも L2 読解を強く予測
Lee & Schallert (1997)	韓国語 L1 学習者 809 名	L2 習熟度が L1 読解技能よりも倍近い説明力
Schoone, Hulstijn, & Bossers (1998)	オランダ語 L1 英語 L2 学習者 272 名	L2 語彙とメタ認知知識は L2 読解を予測
Yamashita (2002)	日本語 L1 英語 L2 学習者 242 名	L2 習熟度がより強く L2 読解を予測

表1の研究はいずれも第二言語の習熟度が第一言語の読解力よりも第二言語読解をよりよく説明することを示している。第二言語の習熟度が高くなると、第一言語読解力と第二言語読解力の相関が高くなることは、言語閾値仮説を支持していると考えられる。第二言語習熟度が低いうちは、第一言語読解技能は第二言語に転移せず、第二言語習熟度が第二言語読解の多くを説明する。それに対して、第二言語習熟度がある程度を超えると、第一言語読解と第二言語読解との間に高い相関関係が見られ、第一言語読解技能が転移すると考えられる。

それでは、第二言語習熟度のうち、Grabe and Stoller (2002) の第二言語読解

の下位レベルプロセスである語彙アクセスと統語解析力のどちらがよりよく第二言語読解を説明するのだろうか。Shiotsu and Weir (2007) は、語彙知識と統語知識のどちらが読解力をよりよく説明できるかを解明するために、イギリスの大学の留学生と対象とした実験と日本人英語学習者を対象とした実験の2つを行った。どちらも第二言語統語知識のほうが第二言語語彙知識よりも第二言語読解をよりよく説明する結果となった。

TOEIC のリーディング部門の大きな特徴は、英文資料、図表や掲示文などに関する出題が多いことである。鈴木(1998) は、TOEIC 読解部門のトピックとして、時事問題、ビジネス関連、生活関連の3つを挙げている。このうち、時事問題、生活関連のトピックは、大学生がよく目にするものだが、広告・求人情報、社内メモ、招待状、ビジネスレターなどビジネス関連の英文はジャンルとして馴染みがないように思われる。Alderson (2000) によれば、読み手の変数として内容スキーマがあることから、広告・求人情報、社内メモ、招待状、ビジネスレターなどビジネス関連の文章の内容スキーマのありなしがTOEICリーディング部門での成績に影響する可能性が考えられる。つまり、ビジネス関連の文章(ジャンル)の内容スキーマを持たないと考えられる大学生にとっては、問題が日本語で出題されても、内容を理解し正答を得るのは難しいのではないかと推察されるのである。

このような状況を踏まえて、本研究は、TOEICリーディング得点を説明する要因として、日本語読解力、TOEIC読解問題で使われる文章のジャンルの理解力、英語語彙力、英語文法力がどの程度説明力を持つのかを調査する。

3. 方法

参加者は、関東地方の英語を専攻とする大学1年生122名である。参加者は、平成22年度1学期の始めに5種類のテストを受験した。それは、TOEIC団体試験、英語語彙サイズテスト、英文法テスト、日本語読解テスト、TOEICリーディング日本語版テストである。英語語彙サイズテストは、もっとも頻度の高い1000語レベルの単語を参加者は知っているという前提で、望月(1998)の2000語から7000語までのレベルを用いて、7000語までの語彙サイズを推定した。このテストは、2つの日本語の単語に相当する英単語を6つの選択肢からそれぞれ選択させる形式である。回答は40分間でマークシートにマークさせ、OMRにより採点した。

TOEIC リーディング得点を説明する要因の究明（望月正道、磯達夫、高本香織、佐藤蘭香）

英文法テストは、被験者の英文法知識およびその運用能力を測定する目的で作成された。このテストでは、語順整序問題が出題された。このテストは、実用英語技能審査（英検）において過去に出題された問題のうち、5級・4級・3級・準2級・2級の語順整序問題を各級から5題ずつの計25問で構成された。

文法知識を問う問題形式として選択式および記述式の空所補充問題も検討された。しかしながら選択式の場合には当て推量で正解してしまう可能性があり、全問題数が少ないことを考慮に入れた場合、当て推量による正解がテストの得点に占める割合が大きくなることが懸念された。また、記述式の空所補充問題については、空所に入る最も適切な語の文法的側面、つまり正解となるべき語の品詞や格、または相などが分かっているにも関わらず、その語そのものが分からない場合や思い出せない場合に正解と見なされず、最終的には語彙の問題となってしまう可能性が考えられた。この点については、和文英訳問題にも同様である。これらの理由から、本研究では文法の知識および運用能力を測定する道具として語順整序問題を使用した。

試験問題の作成にあたり、もともとなる英検の語順整序問題は2番目と4番目にくる語の組み合わせを選択肢から選ぶ形式となっている。しかしながら、本研究では、当て推量による正解や選択肢が解答のヒントとなることがないように配慮し、語句を並び替えてできた文やフレーズを記述する形式とした。

問題は中学校での学習内容から高等学校終了程度の学習内容の中から選択された。文法項目にはbe動詞、疑問詞を用いた疑問文、助動詞を用いた疑問文、命令文、現在進行形、形容詞、一般動詞の過去形、関係代名詞、比較級、定型表現(go for a walk, I'm afraid ~など)、動名詞、仮定法が含まれていた。テストは30分の時間制限を設けて実施され、採点は筆者らが作成した模範解答に従って各クラスの担当者が行った。上述の通り、語順整序後の文を解答欄に記述する形式のテストであったため、文法的にも意味的にも英文として正しいと判断される複数の解答が可能となる問題もあったが、これらも模範解答どおりの解答と同様に正解とした。1問の正解につき1点が与えられ、文法テストの満点は25点であった。

日本語読解テストは、日本国際教育支援協会(JEES)と国際交流基金が、1984年より日本語を母語としない人の日本語能力をはかる手段として実施してきた日本語能力試験(JLPT)から選択したものである。2008年に出題された1級

と2級の試験問題を使用した。調査に使用した問題は、『日本語能力試験 試験問題と正解』(2008)の1級と2級の問題から10問ずつ選択し、配点は、1問1点の20点満点とした。

では、なぜ日本語能力試験の1級と2級の試験問題を使用したのか。今回、日本語を母語とする大学一年生の日本語読解能力をはかるために、どのような問題を準備すればよいかを考慮した時、いくつか問題が生じた。まず、調査対象となる大学一年生たちが、どの程度の難易度の日本語文章を理解できるのかが不明であった。加えて、日本語母語話者の日本語能力を測定する試験は、ほばないようであった。そこで、日本語を母語としないものを対象とする試験であるとはいえ、1級から4級にわかれている日本語能力試験が日本語を母語とする大学一年生の日本語読解能力をはかるときのひとつの指標となるのではないかと考え、日本語能力試験を使用することとした。1級と2級を選択したのは、3級と4級では、日本語を母語とする大学一年生には、簡単すぎると判断したためである。

日本語能力試験1級と2級からどのように問題を抽出したのかについて説明する前に、まず日本語能力試験の1級と2級の問題構成について簡単に説明する。1級は、「文字・語彙」、「聴解」、「読解・文法」にわかれ、「読解・文法」は、200点満点、試験時間90分の試験である。2級は同様に「読解・文法」が200点満点、試験時間70分である。

1級には問題1から問題4まであり、問題3までが読解の問題である。全て選択問題である。問題1は設問が7問ついた長文(おおよそ900字以上)であり、問題2には、中くらいの長さの文(おおよそ700字~900字)が3つ、ひとつの文章につき、3問の設問がある。そして、問題3には、短文(おおよそ700字以下)が5つ、それぞれひとつの設問がついている。2級も読解部分の問題数および構成は1級と変わらないが、文章の長さが若干異なる。

今回作成した日本語読解テストでは、1級と2級の設問が7問ついた長文と、1級と2級の設問が3問ついた問題2の3つの文章の中からそれぞれひとつ文章を選択した。つまり、日本語読解テストは、長文2つと中くらいの長さの文章2つから成っている。

問題を作成するに当たり注意したのは、TOEICリーディング日本語版テストにてビジネス知識を測定するため、日本語の能力を測定するテストでは、問題文のトピックがビジネス関連ではなく、一般的な事柄になるようにする

TOEIC リーディング得点を説明する要因の究明（望月正道、磯達夫、高本香織、佐藤蘭香）

ことであった。選んだ文章のトピックは、自己啓発、船旅について、言葉について、そして悪臭に関してのものであった。また、設問の内容は、文脈理解、内容理解、指示語の内容、接続語を選ぶものなどである。これらの中から 20 問を選出し、30 分間で実施した。

TOEIC リーディング日本語版テストは、『TOEIC テスト新公式問題集』（国際ビジネスコミュニケーション協会、2005）のリーディング問題から、4 つの文章とそれらに関する問題 15 題をすべて日本語訳にしたものである。これらの問題は、前述の大学生には馴染みのないと思われるジャンルから選んだ。社内研修の予定表に関する問題が 2 問、オンラインショッピングの注文確認のメールに関する問題が 3 問、ガス会社からの請求明細書に関する問題が 5 問、ニュース記事とそれに関連する社内メモに関する問題が 5 問の計 15 問である。配点は 1 問 1 点で 15 点満点とし、30 分で実施した。

3. 結果

122 名の参加者のうち、5 つの試験すべてを受験し、かつ、最後まで解答した 106 名について分析を行う。5 つのテストの基本統計量と信頼性係数 Kuder-Richardson 20 (K-R 20) は表 2 のとおりである。

表 2 5 つのテストの基本統計量と信頼性係数

<i>n</i> =106	TOEIC	リスニング	リーディング	語彙	文法	日本語読解	日本語 TOEIC
<i>Full marks</i>	990	495	495	7000	25	20	15
<i>Mean</i>	358	218	140	3661	14.7	16.2	12.7
<i>S.D.</i>	85.6	52.7	42.6	799	3.57	2	1.82
<i>Max</i>	705	425	335	6077	21	19	15
<i>Min</i>	165	115	50	2192	6	11	7
<i>Range</i>	540	310	285	3885	15	8	8
<i>K-R20</i>				.95	.79	.71	.84

語彙サイズテスト、文法テスト、日本語読解テスト、TOEIC リーディング日本語版テストの内的一貫性をみる K-R 20 の値は、それぞれ .95, .79, .71, .84 で

ある。語彙サイズテストと TOEIC リーディング日本語版テストは.8 を上回る値で信頼性に問題はない。文法テストと日本語読解テストは.8 に及ばないが、テスト項目数の少なさを考えるとある程度は信頼性のあるテストと考えてよいだろう。

これらのテストの結果、参加者の大学1年生は、TOEIC の総得点の平均が 358, リスニングは 218, リーディングは 140 であった。平均的な参加者は、3661 語の英語語彙サイズを持ち、英検 5 級から 2 級までの並べ替え問題の英文法テストで約 60%, 日本語能力試験の 1, 2 級の読解問題で 80% 以上, TOEIC リーディング日本語版テストで約 85% 正解できることがわかった。

英語語彙サイズテスト, 英文法テスト, 日本語読解テスト, TOEIC リーディング日本語版テストの得点を説明変数として, TOEIC リーディング得点を目的変数として, 重回帰分析を行った結果は, 重回帰係数は.538, 重回帰決定係数は.289 でいずれも 1%水準で有意であった。4つの説明変数の回帰係数, 標準誤差, p 値は表3のとおりである。

表3 4つの変数の回帰係数, 標準誤差, p 値

	回帰係数	標準誤差	t	p	下限 95%	上限 95%
切片	65.3	35.6	1.83	.07	-5.3	135.84
英語語彙	0.73	0.22	3.34	.00	0.3	1.17
英文法	2.84	1.29	2.2	.03	0.28	5.41
日本語読解	-0.29	1.9	-0.2	.88	-4.06	3.49
日本語 TOEIC	-1.03	2.04	-0.5	.62	-5.08	3.02

表3から, 英語語彙サイズは 0.1%水準で, 英文法力は 5%水準で TOEIC 読解力を説明することに寄与するが, 日本語読解力と日本語版 TOEIC 読解力は有意に寄与していないことがわかる。

4. 考察

実験結果について2点考察する。まず, 重回帰分析で, 日本語読解力, 日本語版 TOEIC 読解力は, TOEIC のリーディング得点に寄与していない結果は, 3つのことを示唆する。1つは, 今回の 106名の大学生参加者は, 第二言語習熟度が低いために第一言語の読解技能が転移していないと考えられる。

これまでの言語閾値仮説研究の結果を支持するものである。第2の示唆は、この研究で日本語読解テストとして使用した日本語能力試験は、参加者の日本語読解力を測定するのに適当なものではなかったかもしれないということである。日本語読解テストの平均は80%以上の得点で天井効果が見られ、参加者を日本語読解力という点で十分に弁別していない。日本語読解テストは、表2に示すとおり、20点満点のテストで、平均が16.2、標準偏差が2とばらつきが小さいことが弁別力の弱さにつながっている。国語の大学入試問題のような試験を日本語読解テストとして用いていけば、別の結果になっていたかもしれない。このことを裏付けるために、事後の調査を実施した。被験者106名をTOEICリーディングの得点で4つのグループに分け、上位グループ25名と下位グループ25名で比べると、下位グループではTOEICリーディングと日本語読解の間に相関関係は見られないのに対して、上位グループでは-0.17という弱い負の相関が見られた。これはこれまでの言語閾値仮説研究の結果に反するもので、日本語読解テストが適切でなかったことを裏付ける証拠と考えることができる。第3は、日本語読解テストであるTOEICリーディング日本語版テストも同様に天井効果が見られ、参加者を弁別することはできなかったことである。しかしながら、この結果が示唆することは大きい。すなわち、TOEICのリーディングの読解問題は、ビジネスに関する内容で、大学生はビジネス文書に対する内容スキーマを持っていないために、日本語で読ませて理解できないのではないかという懸念があった。今回の実験結果は、TOEIC得点が平均で350点程度の習熟度の大学生であっても、この懸念はあたらぬことを示している。TOEICリーディング日本語版テストが適切な問題であったことは、事後分析の上位グループ・下位グループともに、TOEICリーディングとの間に非常に弱い正の相関があったことで裏付けられる。TOEICの読解問題は、ビジネス関連の内容であるが、それは一般の大学生に理解可能なレベルであり、英語力さえあれば十分に対処できる内容であることが示唆される。

第2に、第二言語のどの構成要素がTOEIC読解をもっとも説明できるのかについて考察する。単回帰分析を行うと、英語語彙サイズの補正後の決定係数は.245、英文法は.201である。この2つの変数による重回帰分析の補正後の決定係数は.273である。語彙と文法はいずれも単独よりも2つを組み合わせの方がTOEIC読解をよりよく説明できるが、単独では語彙の方がより大き

い説明力を持つことがわかる。

この結果は、Shiotsu and Weir (2007)の結果と相反するものである。その原因を探るために事後分析を行うと、さきほどの上位グループと下位グループの語彙と文法のTOEICリーディングの相関は、表4に示すように逆転していることが判明した。すなわち、上位グループでは、TOEICリーディングと語彙の相関が.49、文法は.33と語彙の方が高いのに対して、下位グループでは、語彙.37、文法.48と文法のほうが高い相関を示している。すなわち、英語習熟度が低い学習者の読解は文法力によってより多く説明されるのに対して、英語習熟度がある程度の水準に達すると、文法力よりも語彙力のほうがよりよく読解を説明するということである。

表4 上位下位グループの語彙と文法と読解の相関

	<i>n</i>	語彙			文法		
		平均	標準偏差	相関	平均	標準偏差	相関
上位	25	4118	902	.49	16.7	2.53	.33
下位	25	3251	493	.37	12.7	3.20	.48

これは理にかなったことである。英語習熟度が低い学習者は、基本的な文法が身につけてなく、読解力もない。語彙力があっても文法力がないためにテキスト理解に結びつかない。それに対して、ある程度の英語に習熟している学習者は、その文法力により基本的な文構造を理解し、テキストの読解ができる。そして、その読解は語彙力によって促進される。したがって、語彙知識が第二言語読解により大きく寄与している。Shiotsu and Weir (2007)は、読解力測定に用いたテストの読解テキストの難易度が難しく、より高度の文法知識を必要としたために、統語知識が読解をよりよく説明できるという結果になったのではないかと推察される。

しかしながら、上位と下位グループで第二言語読解を説明するものが語彙と文法に分かれた点については注意が必要である。それは表4が示すように、語彙テストと文法テストの標準偏差の大きさが上位と下位グループでは異なっていることである。上位グループでは語彙テストの、下位グループでは文法テストの標準偏差がそれぞれ他のグループよりも大きく、得点がより大きく分布していることを表している。逆に言うと、上位グループは文法テスト

TOEICリーディング得点を説明する要因の究明（望月正道、磯達夫、高本香織、佐藤蘭香）

で、下位グループは語彙テストでそれぞれのグループ内で差がつかなかったことを意味する。それゆえ、ばらつきの大きい方の言語知識が読解力をよりよく説明する結果になったとも考えられる。

本研究の結果が示唆することは、TOEIC 350 点に満たないような学習者には、語彙よりも文法指導のほうがTOEIC得点の向上に寄与し、逆にTOEIC 350 点を超える学習者には、文法よりも語彙指導のほうがTOEICリーディング得点の向上に寄与することを示唆していると考えられる。したがって、第二言語の読解力を向上させる効果的な方法としては、まず基本的な英文法の試験を実施し、その成績により文法を強化するグループ、語彙を強化するグループに分けて指導することが挙げられる。

しかしながら、被験者が大学生であることと英検の2級が高校卒業程度の難易度であることをあわせて考えると、25点中14.6点という平均点は決して高い点数ではない。図2に示すように、8割(20点)を超えた被験者は106名中7名、6割(15点)でも43名と、50%以上の被験者が6割を超えないという結果となった。また約12%の被験者は4割以下の得点である事が明らかとなった。本研究で実施された英文法テストが被験者にとって難易度の高い問題であった可能性が示唆される。実際に項目毎の正解率を見ると、25問中9問に対する正解率は50%を下回っていた。また、問題項目を難易度別に見た場合、各問題の正解率平均値は、5級レベルで83%、4級で83%、3級で45%、準2級で41%、2級で31%と、難易度が上がるにしたがって正解率が下降していることが明らかとなった。さらに、上でも述べたように、正解率

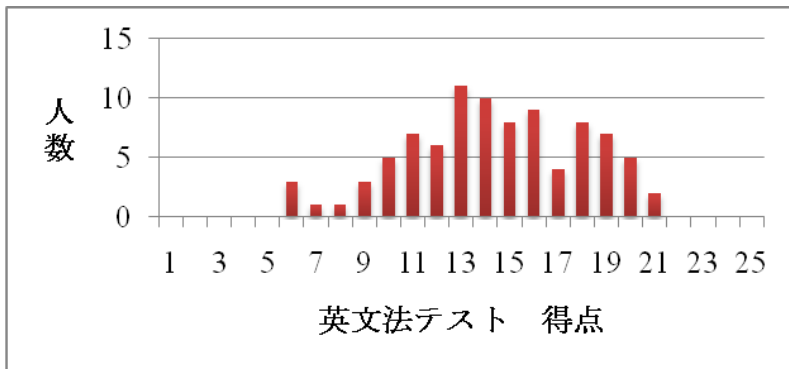


図2 英文法テスト得点分布

が50%を下回る問題は9問あったが、これらは全て3級以上の級からの出題であった。これらのことは本研究の被験者の約半数が基礎文法力ともいえる中学校卒業程度の文法力さえも十分に身につけていなかったということを示唆している。したがって、本研究の示唆として、上位グループには語彙力を増強する指導を、下位グループには文法力向上の指導を行うのが望ましいとしたが、実際には上位グループであっても基本的な英文法知識が十分身につけているとは言えず、文法指導を行うことは効果的であろう。

今後の研究の方向として3つの課題が考えられる。まず、本研究では日本語読解能力を測定するために、外国人向けの日本語能力試験を使用したのが、参加者の日本語読解能力を弁別するには適当ではなかった。第一言語の読解能力が第二言語のそれにどう影響するのかを調べるのであれば、参加者の第一言語の読解能力を適切に弁別できる方法を用いることが必要である。大学入試の国語の問題で読解能力を測定していると思われるものやZ会が実施している「国語力検定」の「読む力」の問題を利用することが考えられる。このような方法で第一言語の読解能力を測定した場合、本研究とは異なる結果が得られるかもしれない。

第2に、本研究では第二言語文法能力を英文を並べ替える統語知識に限って調査したが、より広い文法能力を調査して、本研究と同じ結果が得られるかどうかは今後の研究課題となるであろう。たとえば、時制や相、不定詞・分詞・動名詞のような準動詞、助動詞、関係詞のような文法事項をも含めたより広い文法能力を正しく理解しているかどうかを読解能力にどの程度影響するかを調査することは興味深い研究課題になるだろう。

第3に、本研究では、英語習熟度が高いグループは語彙力、低いグループは文法力のように、第二言語の習熟度の違いにより、第二言語読解をよりよく説明する要因が異なった。これは一般化できる事実であるのかどうか追試してみる価値がある研究課題である。

5. まとめ

本研究は、TOEIC 読解能力をもっともよく説明する要因を発見するために、英語語彙サイズテスト、英文法テスト、日本語読解テスト、TOEIC リーディング日本語版テストを実施した。その結果、英語語彙力がもっとも説明力が大きく、つぎに英文法力が大きいことが判明した。日本語読解テストと

TOEIC リーディング得点を説明する要因の究明（望月正道、磯達夫、高本香織、佐藤繭香）

TOEIC リーディング日本語版テストの得点は、TOEIC 読解得点を説明することはないこともわかった。さらに、英語習熟度の高い学習者は語彙力が、低い学習者は文法力が、第二言語読解力をよりよく説明することがわかった。このことは、第二言語の読解力を向上させるためには、第二言語習熟度のレベルに合わせて、焦点を当てる知識を変えることが有効であることを示唆する。しかしながら、今回の研究は小規模であり、使用したテストも焦点を当てた構成概念を十分に反映したものとは言えないかもしれないことを鑑みると、この結果を一般化するには、さらなる追試研究が必要であろう。

引用文献

- Alderson, J. C., (1984). Reading in a foreign language: a reading problem or a language problem? In J.C. Alderson & A. H. Urquart (Eds.), *Reading in a foreign language*. (pp.1-24). London: Longman.
- Alderson, J. C., (2000). *Assessing reading*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Grabe, W. (2009). *Reading in a second language: Moving from theory to practice*. New York, NY: Cambridge University Press.
- Grabe, W., & Stoller, F.L. (2002). *Teaching and researching reading*. Harrow, England: Person Education.
- Shiotsu, T., & Weir, C.J. (2007). The relative significance of syntactic knowledge and vocabulary breadth in the prediction of reading comprehension test performance. *Language Testing*, 24, 99-128.
- 『TOEIC テスト新公式問題集』（2005）。国際ビジネスコミュニケーション協会
- 鈴木健（1998）。『TOEIC テスト読解問題：TOEIC730 30日間完成プログラム』旺文社
- 『日本語能力試験 試験問題と正解 1・2級』（2008）日本国際教育支援協会・国際交流基金
- 望月正道（1998）。「日本人英語学習者のための語彙サイズテスト」『語学教育研究所紀要』第12号，pp.27-53.

付録A：英語語彙サイズテスト(抜粋)

日本語の意味を表す英語を(1)～(6)の中から選び、その番号をマークしなさい。

1. (自転車などの)踏み板 2. ナットと共に締め付けるねじ
(1) bolt (2) cloth (3) ferry (4) pedal (5) scissors (6) stone

3. (劇などの)練習、稽古 4. 絶頂、最高潮、山場
(1) climax (2) episode (3) manner (4) motion (5) rehearsal (6) theater

5. 虹 6. 広告主、資金提供者
(1) neck (2) rainbow (3) range (4) seed (5) sponsor (6) trousers

7. 報酬、ほうび 8. 敵
(1) comparison (2) decision (3) enemy (4) feather (5) influence (6) reward

9. 手押し車、荷馬車 10. 機会、好機
(1) attempt (2) cart (3) crop (4) opportunity (5) pressure (6) tap

11. 害、傷害、危害 12. 働き、機能
(1) conversation (2) function (3) harm (4) lip (5) object (6) steam

13. 証拠 14. 尊敬、敬意
(1) association (2) difficulty (3) dolphin (4) evidence (5) respect (6) weight

付録B：英文法テスト(抜粋)

1～15は日本語の意味を表すように英語の語句を並び替えなさい。

- 1 あなたはどこで野球をしますか。
play where you do baseball

- 2 私は学校で英語部に入っています。

TOEIC リーディング得点を説明する要因の究明（望月正道、磯達夫、高本香織、佐藤繭香）

I club English in am the at school

3 あなたの辞書を使ってもいいですか。

your I can use dictionary?

4 夜、あなたは何時に寝ますか。

bed go do at night you to time what

5 太郎はバスケットボールがうまくありません。

isn't basketball Taro a good player

6 あなたの電話番号を教えてください。

please me telephone your number tell.

7 音楽室でギターを弾いているのはだれですか。

in the guitar who playing is the music room?

8 この手袋は、私には大きすぎます。

these for are big too gloves me.

付録C:日本語読解テスト(抜粋)

問題I 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、1・2・3・4から最も
 適当なものの一つを選びなさい。

学習や教育についての調査研究をしていると、「自分は何のために学ぶのか」についていろいろな考え方に会おう。教育心理学者もまた、さまざまな理論を出してきた。大きく分けると、「何らかの目的のための手段として人間は学ぶのだ」という「外発的」な考え方と、「人間は学ぶことそれ自体を楽しむ存在だ」という「内発的」な考え方である。

どちらの理論も、それなりに人間性のある面をついていて、もっともらしく思える。(①)、どちらかで押し通そうとすると、どこか無理があって息苦しい。そこで、学ぶということは、「なりたい自己」と「なれる自己」を広げることだと考えてみるとどうだろう。「なりたい自己」というのは、社会的役割、趣味、思想などを含めた「あのようになりたい」と思う生き方である。「なれる自己」というのは、今の自分の延長として可能な選択肢である。

私たちは、学ぶことによって、それらの自己を広げて、その重なりあうところから何かを選んで「なっていく」。なぜ学校で学ぶのかといえば、日常生活だけでは、「なりたい自己」も「なれる自己」も狭いところで閉じられてしまうからである。学校の学習に限らず、自分が何か新しいことにトライしてみることによって、「それを楽しめる自分」を発見できたり、自分の将来の可能性を広げたりできる。

昨年、ある中学校で総合学習の発表を見た。地域でさまざまな生き方をしている人の様子を見学し、ポスターにまとめ、教室や廊下を使って報告しあうものだった。その中で、私がかたまたま聞いたのは、子どものために絵本を作り、読み聞かせをしているボランティアの方に取材した女子中学生だった。

彼女の丁寧な発表から、いかに多くのことを学びとり、その方に尊敬の念を抱いているかが見て取れた。しかし、私が驚いたのは、「君もあの人のようになってみたいと思うの」と聞いたときの答えである。「いえ、まだ、すぐには決めません。一人の方に取材してみ、これだけいい経験ができたので、他の人からもいろいろ聞いてみたいからです」

果てしなく広がっていく(③)を見た思いがした。

(市川伸一「自分の可能性広げる糧に」『学びの時評』読売新聞2006年3月13日付朝刊による)

(注1) 自己じこ：自分

(注2) 選択肢せんたくし：何かを決めるときに、選ぶことのできるいくつかの手段

(注3) トライしてみる：実際にやってみる

(注4) 総合学習：いくつかの科目で得た知識をまとめて、調査や発表をする授業

(注5) ボランティア：人や社会のために、お金をもらわずに働くこと。またはその人

(注6) 取材：記事を書くために情報を得ること

(注7) 果てしなく：限りなく

問1 (①) に入る最も適当な言葉はどれか。

1

- 1 すると
- 2 だから
- 3 しかし
- 4 つまり

問2 筆者によると、学ぶとはどういうことか。

2

- 1 なりたい自分になるのに必要な知識を、日常生活の中で得ること
- 2 学ぶ目的を理解し、学校生活や日常生活を楽しめるようにすること
- 3 人生の目標を見つけるために、今の自分ができることに集中すること
- 4 自分がしたいこととできることを増やして、将来の選択肢せんたくしを多くすること

問3 「なりたい自己じこ」「なれる自己」が広がるとはどういうことか。考えられる例として最も適当なものはどれか。

3

- 1 りっぱな仕事つに就いて、みんなに尊敬される人になる。
- 2 将来してみたいことや、できそうな職業の種類が増える。
- 3 行動範囲はんいが広くなり、自分を的確に表現する力も伸びる。
- 4 ボランティアの方に取材ていねいができる丁寧な態度が身につく。

付録D：TOEIC リーディング日本語版問題(抜粋)

問題1－2は次の予定表に関するものです。

管理部新入社員研修 8月7日(月) 包装設備施設見学	
午前9時～9時30分	カフェテリア集合：軽い朝食をとる。
午前9時30分	シャトルバスにて包装設備施設へ出発。
午前10時～10時20分	Tom Miller 業務部長による、施設目標と最新改善点の詳細説明。
午前10時20分～10時30分	ツアーガイドと合流(ガイドは全員、ベテランの包装施設の作業員)。
午前10時30分～11時15分	Aグループ：出版エリアを訪問。 Bグループ：配送センター訪問。 Cグループ：包装エリア訪問(防護服着用のこと)。
午前11時15分～正午	Aグループ：配送センター訪問。 Bグループ：包装エリア訪問(防護服着用のこと)。 Cグループ：出版エリアを訪問。
正午～午後1時	包装事業のコーディネーター Anna Towers と昼食。
午後1時～1時45分	Aグループ：包装エリア訪問(防護服着用のこと) Bグループ：出版エリアを訪問。 Cグループ：配送センター訪問。
午後1時45分～2時30分	包装、出版、配送の各担当長とのパネル・ディスカッション。
午後2時30分	シャトルバスで管理部のオフィスへ戻る。

1. 管理部の新入社員は何をする予定になっていますか。
 - (A) 管理部のオフィスに郵便物を配る。
 - (B) 会社の施設を見学する。
 - (C) Miller 氏に彼らの仕事について相談する。
 - (D) 顧客を社内見学案内する。

2. Aグループはいつ配送エリアに行きますか。
 - (A) 午前10時20分から午前10時30分まで
 - (B) 午前10時30分から午前11時15分まで
 - (C) 午前11時15分から正午まで
 - (D) 午後1時から午後1時45分まで

問題 3 - 5 は次のメールに関するものです。

送信元： Lettore 書店オンラインより [order-info@lettorebooks.com]
宛先： Andrea Polokov 様 [apolokov@amail.com]
件名： ご注文内容の確認

Andrea Polokov 様

Polokov 様からの 12 月 2 日のご注文を確かに受け取りました。

ご注文番号は YB-145970 です。ご注文についてのお問い合わせには、この注文番号が必要です。

ご注文のタイトルのうちの書籍 2 冊は在庫していますので、1 ~ 3 日以内に発送予定です。ビデオ 1 タイトルについてはお取り寄せになります。入荷・発送は 3 週間以内の見込みです。発送しましたら、発送日、配送方法ならびに到着予定日をメールにてお知らせいたします。

なお、配送状況をお知りになりたい場合は、<http://www.lettorebooks.com/acctinfo/login> のアカウントサービスをご利用ください。こちらでは配送状況や配送予定日を見たり、未発送品のキャンセルができ、カスタマーサービスを 24 時間ご利用になれます。

カスタマーサービスへのお電話でのお問い合わせは 1-800-555-2346。月曜から金曜までの午前 8 時より午後 5 時までサービス担当者が対応いたします。

Lettore 書店オンラインをご利用いただき、重ねて御礼申し上げます。

敬具
Lettore 書店オンライン

3. このメールは何を確認するものですか。
- (A) 注文が処理されていること。
 - (B) 配送方法が変更になったこと。
 - (C) 注文品の一つが生産中止になっていること。
 - (D) 荷物は発送済みであること。
4. 客は、注文品の問い合わせにどんな情報を用意しておくことになっていきますか。
- (A) 配送先の住所
 - (B) 注文番号
 - (C) 配送の明細
 - (D) クレジットカードの番号

5. アカウントサービスのサービス内容として記載されていないことは何ですか。
- (A) 注文品の配送中止
 - (B) 商品の返品
 - (C) 配送状況の確認
 - (D) カスタマーサービスへの問い合わせ